

安倍奥山塊

## 安倍川支流・白沢左俣

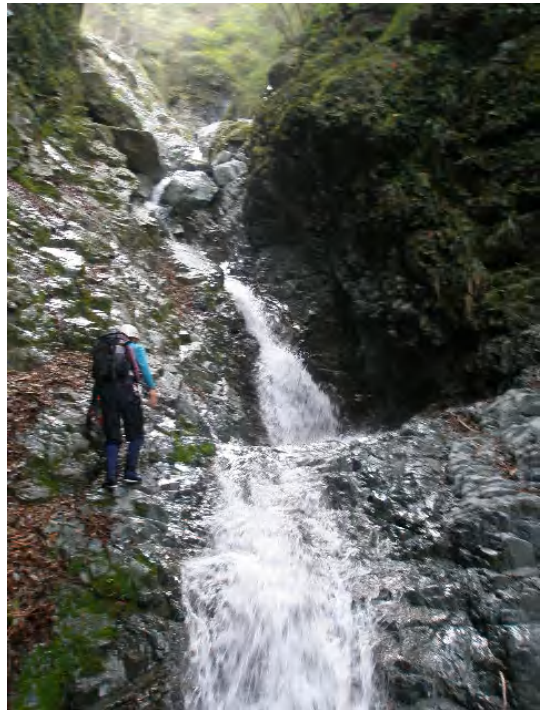
遡行日：2008年4月20日

メンバー：L三井、野澤（記）

三井さんから、先月の安倍奥の黒沢に引き続き、隣りの白沢・左俣へ行こうと誘いがあった。前回の黒沢も素敵な沢だったので、今回の誘いにも二つ返事で乗った。また、最近忙しくなり、ゆっくりとした山行が出来ないので、日帰り可能な静岡方面の沢は助かる。今回は100mの大滝があるそうで楽しみ！

いつものように道の駅「富士」下り線で待ち合わせし、三井車でいざ安倍川へ。昨日まで降っていた雨のせいか水が濁っている。いつもより水量も多い。少し心配だが大丈夫だろう。白澤橋を越えすぐに右折し、林道を終点まで走る。目の前に大きな鉄パイプの堰堤が見えたら終点。壊れた道路を超えこの堰堤を巻く。茶畑を抜け沢へ降りる。大きな石（岩）がゴロゴロある。石も少し白いか？全体的に白く明るい沢だ。

この沢にも脇の方にワサビ田がある。おこぼれはないかと探すが今回は見当たらない。残念！今回はお土産なしだ。右俣との分岐まで約1時間大石のゴーロを歩く。更に歩いていくと、急に狭まり左俣・中俣手前の滝が現れる。右岸を通過することにする。石が浮いている。気をつけながら越える。ここを超えると、左俣の3段100m大滝が現れる。本日の核心部である。水量もほどほどあり美しい滝だ。登攀意欲も沸いてくる。ゆっくり休憩し三井さんトップで登りだす。9:50。下段部は中俣から巻き、中段部からロープを出す。最初は順調だったが、途中で頭ほどの石が浮いていて手こずる。ハーケンも効かない。どうしても駄目な石を落とし、何度もトライし突破する。微妙なバランスで勇気が必要だった。



【左俣・中俣手前の滝 右岸通過中】



【左俣の3段100mの大滝  
下段25m】



【左俣の3段100mの大滝  
中段テラス40m】



【左俣3段100m大滝の  
中段テラス登攀中の三井さん】

中段以降は、上れそうにないので左岸を水流沿いに登り始めるが足場が悪く途中からさらに横を巻くことにした。しかし、悪い。さらに横は断崖。今までにこんなに悪い巻きは見たことがない。登れそうな傾斜地でも、手を伸ばしたところに草も木もなく、あとちょっ

と届かない。結局巻きでザイルを出しっぱなし。三井さんトップで行く。悪戦苦闘。着ているものは泥だらけ。漸く3段100mを登りきったところで13:30。なんと3時間半の格闘であった。しかし、どんな状況下でも突破してしまう三井さんは凄い。膝の調子も良さそうだ。

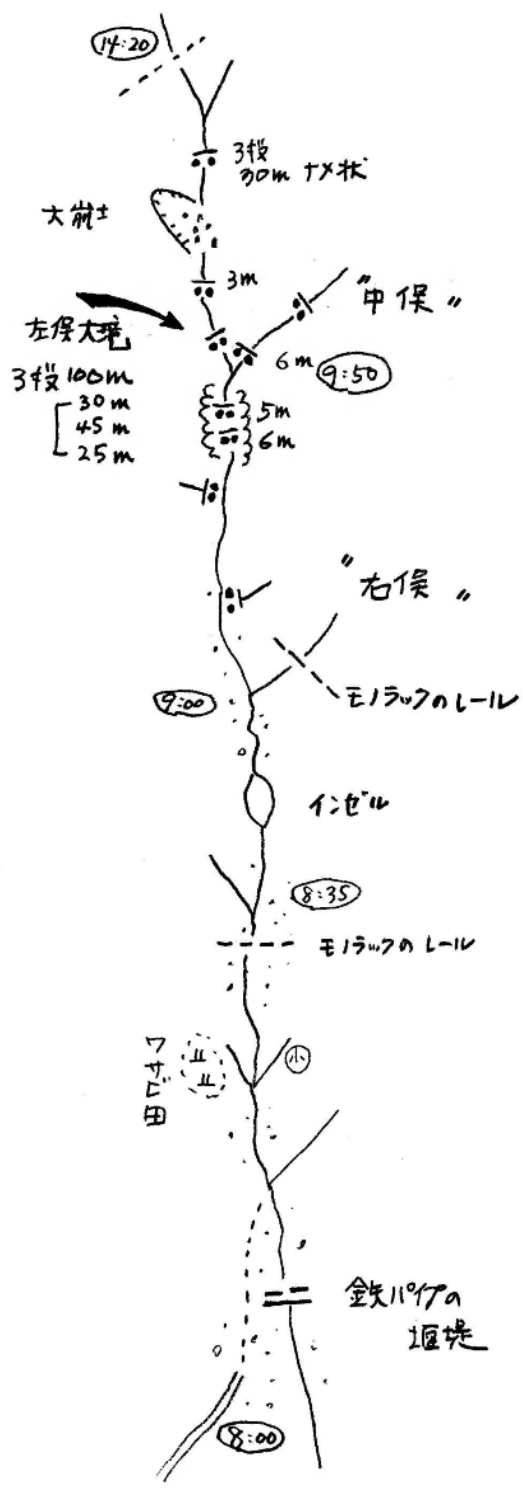
登攀具を外し休憩後に詰めを登る。少し歩くとここでまたまた吃驚！山が大崩壊しているのだ。今までこんなに崩壊しているところを見たことがない。崩壊地を通過するのも怖く急ぎ足で抜ける。

14:20、作業道らしきものを発見。下山を開始する。約1時間で舗装道路に出た。車をデポしている場所までのんびり歩く。周りはわさび田だらけ。豊かな水がもたらす生活だ。

16:50デポ地到着。今日もたっぷり沢で遊べた。

静岡方面の沢は今まで来たことがなかったが、黒沢、白沢ともに大満足。次はどこかの沢の誘いがあるかなと期待している。

また、安倍川周辺では、黒沢は黒澤（くろんざわ）、白沢は白澤（しろんざわ）と呼ぶらしい。文化を感じてなかなか興味深く、そのうちじっくり調べてみたい。



08. 4. 20  
 安倍川支流 白沢 左俣